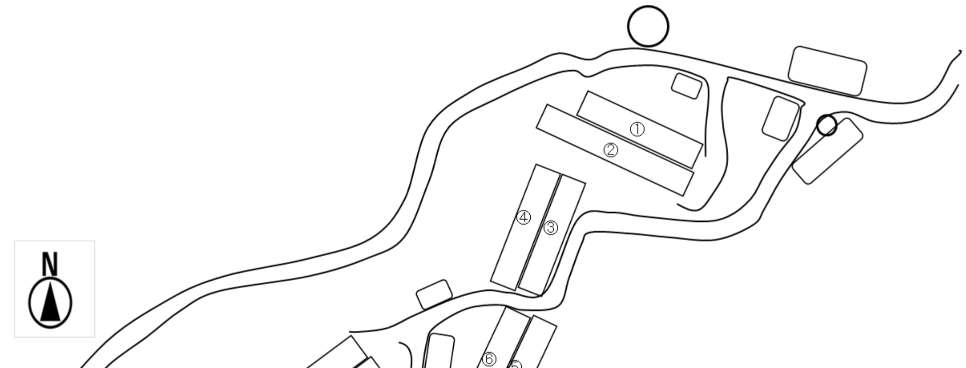
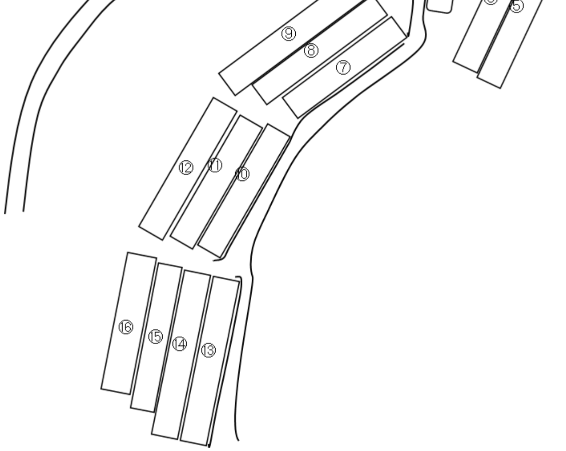

- 鶏舎は16棟
- 山林に囲まれ、川沿いに立地
- H25に前経営業者が廃業して以来、放置状態
- 鶏舎周囲は雑草や樹木が繁茂

- 鶏舎床面は再活用に比較的耐えられる
- 鶏舎側面の金網・カーテン・防鳥ネットは劣化著しく全面的な修理が必要

図1：遊休鶏舎概要

- 全16鶏舎で金網破損があり【評価】1

- 現在、16鶏舎とも金網二重張りやカーテンを利用し概ね破損修理され【評価】4

図2：鶏舎側面の金網

- 9鶏舎で出入口扉の破損があり【評価】1

- 近隣遊休肉用鶏農場より資材確保

- 現在、9鶏舎とも出入口は修理され【評価】5

図3：鶏舎出入口扉

- 4鶏舎で樹木が鶏舎屋根に伸びた箇所あり【評価】1

- 現在、4鶏舎とも樹木伐採され 【評価】5

図4:鶏舎周囲の樹木繁茂状況

- 農場に車両消毒設備が無く【評価】1

- 農場出入口付近通路に石灰帯(✕)を敷き、手押ポンプ設置し【評価】4

- 動力噴霧器設置(✖)し【評価】5

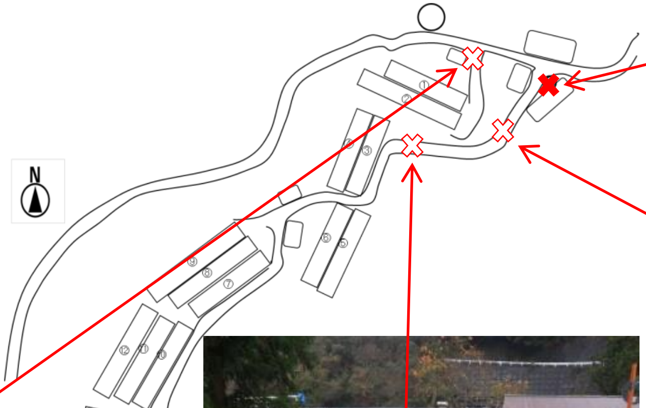

図5:農場出入口の車両消毒

温度、湿度、アンモニア濃度測定（H30.11中旬～下旬）

- 低育成率鶏舎：5,6号鶏舎、対照鶏舎：1号鶏舎

	温度（℃）		湿度（%）		アンモニア濃度（ppm）	
	22日齢	30日齢	22日齢	30日齢	22日齢	30日齢
5号舎	26	24	**60**	**52**	**12**	**13**
6号舎	25	24	**60**	**60**	**10**	**11**
1号舎	25	21	48	36	3	4

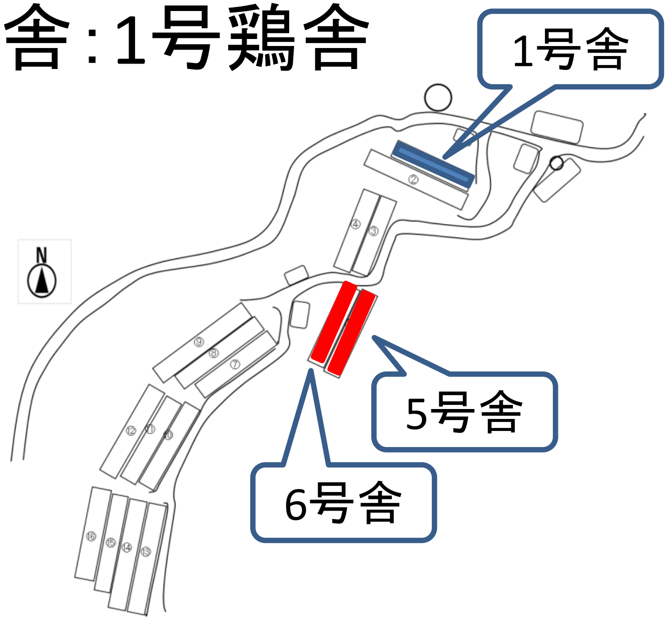

図6：低育成率鶏舎の舎内環境測定

暑熱による死亡羽数増加が2回発生

- 老朽化換気扇の能力低下による換気不良が主原因 ➡ 扇風機増設

- 糞便よりコクシジウムが検出
  オルソ剤の消毒をプログラムに追加
  各鶏舎の石灰消毒槽に加え、オルソ剤による踏込消毒槽設置

図7：立入事例（H30.7中旬、下旬）